


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成27年6月1日

山北町議会議長 府川輝夫 殿

受付番号	第3号	質問議員	5番	原 憲 司	
件名	観光振興による町のにぎわいと山北駅周辺の活性化を				
要 旨					
<p>当町の平成27年4月1日現在の人口と世帯数は、人口が11,314人で、世帯数が4,290世帯であります。1年前の平成26年4月1日現在と比較しますと人口が11,480人で、166人の減少、世帯数が4,275世帯で15世帯の減少であります。</p> <p>山北町の人口減少は、今後、さらに続く傾向にありますので、山北町の将来像である「みんなで作る魅力あふれる元気なまちやまきた」を実現させるための取り組みとして、山北町の中心である山北駅周辺や地域の活性化に積極的に取り組み、観光入込客の増加を図る中で、山北町全体のにぎわいと活気を取り戻し、山北町の魅力の一つでも多く増やし、山北町にぜひ住んでみたいと思えるようなまちづくりを推進するため、観光振興による観光入込客の増加と山北駅周辺の活性化の取り組みについてお伺いします。</p> <p>1. 山北駅周辺の活性化は、町全体の活性化に繋がるので、山北らしい特徴ある「さくらラーメン、とろろ手打ちそば、シカ・イノシシ料理、スッポン料理」などの「食」の開発を商工会や商店振興会等と協議する中で、山北の特産食の開発・認定を行い、町民はもとより、河村城址、洒水の滝、大野山、高松山</p>					

などへ訪れた方々に、山北の食の美味しさや自然の美しさを感じ取っていただき、観光入込客の増加を図り、山北駅周辺の活性化を図っては。

2. 山北駅周辺のにぎわいづくりは、少子高齢化により、いろいろな面で難しいことが多々ありますので、観光入込客の増加による山北駅周辺のにぎわいづくりに取り組むため、河村城址に足柄平野から相模湾、富士山の絶景などが眺められる展望台を早急に整備するとともに、洒水の滝に滝つぼが眺められる観ばく台も整備し、観光PRを積極的に行い、観光入込客の増加を図り、山北駅周辺のにぎわいづくりに取り組んでは。

3. 当町の自然環境を活かした水源の町として、森林の美しさや清流の清き水を全国にPRした中で、山北町の自然環境の美しさを多くの方々に知っていただき、観光振興や地域振興に繋げるため、秦野峠林道や犬越路林道、世附林道を有効に活用し、他の県や市町村とつなぐ、新しい観光ルートの道路整備・通行計画を町自らが策定し、新たな観光ルートの道路整備・通行計画をもとに、県や関係市町村に要望活動などを積極的に行い、観光入込客の増加を図り、観光振興による町の活性化や地域振興を図っては。

4. 2020年の東京オリンピックの開催に伴い、多くの外国人が我が国に来朝されますので、当町に多くの外国人が訪れるための主要施設の整備や観光案内の方針計画を策定するとともに、外国人向けの観光案内板を製作し、観光振興の基礎づくりの一つとして、取り組んでは。

5. 山北町の観光振興を推進するため、特徴ある町のマスコットキャラクターを中心に、町の観光を特徴的にPR、宣伝をする必要がありますので、観光協会と十分協議する中で、「きしゃポッポくん、やぶさめくん、シカくん、おさるくん」などの名前を付けた町のマスコットキャラクターを製作し、山北独自のPR、宣伝を行い、町の観光振興を図っては。